



くすのき



学校のシンボル
くすの木

令和5年度 第10号
令和6年 1月31日
さいたま市立土合小学校

〒338-0832 さいたま市桜区西堀 7-21-1

TEL 048-862-5156

FAX 048-836-1580

二宮金次郎像に書かれている「至誠」とは

校長 菊地 勇

暦は、もうすぐ、「立春」です。東門付近のフェンス沿いに植えてある「河津桜(カワヅザクラ)」はつぼみを大きく膨らませ、数輪の花が咲いています。早咲きの桜ですから、春を告げているのかもしれない。

最近、東門であいさつ運動をしていると、この人誰？(右写真)とかランドセルを背負って歩きながら本を読んではいけないのに。とよく声をかけられました。

この方は、**二宮金次郎**(にのみやきんじろう)

【大人になって**尊徳**(そんとく)】です。

二宮金次郎は、江戸時代の末期に農民の子として生まれ、とても貧しい少年時代を過ごしました。仕事を手伝いながら寸暇を惜しんで読書したり、箱に砂を入れて棒で書いては消すことを繰り返したりしながら、勉強をしたのは有名な話です。だからなのでしょう、金次郎像は、薪を背負いながら、本を読む姿になっています。その少年時代の金次郎を模範として昭和時代、二宮金次郎像を設置する小学校が増えたようです。

台座には「至誠」と書かれています。→

二宮金次郎(尊徳)は230年以上前に生まれましたが、後半生は、荒廃した農村の復興・再建に捧げたといわれています。その数700以上とも。その思想は、「報徳の教え」として4つの視点が示されています。①至誠(しせい)…誠を尽くす、真心を持って ②勤労…工夫して、楽に仕事をする ③分度(ぶんど)…それぞれの収入の中であった生活をする ④推攘(すいじょう)…余ったお金を貯めておく、社会のためにつかうこと など視点が示されています。その考え方を含め技術を伝えながら、農村改革、持続可能な農村づくり(SDGsみたいですね)を支援したのです。

その中でも、「至誠」は基本とされ、「報徳への道」は、「至誠」と「実行」だといわれています。「至誠」は、「真心」を持って、物事に取り組み、「誠実」に行うことです。なかなか例えづらいますが、「至誠」とは、正直な心・あたたかい心・粘り強くと考えます。あたたかい心は、学校教育目標にもなっています。苦勞して、工夫して勉学を続け、農村復興に尽力した人生は、素晴らしい教材だと思います。様々な考え方がある中で、全国的に像がなくなっていくのは寂しいことです。2月の講話朝会では、これらの話をしたいと思います。

★ご家庭でも、ご指導ください★ (2月の講話朝会でも話をします)

保護者や地域の方からの情報で、通学路の私有地に許可なく侵入したり、落書きをしたり、駐車している車をさわっている、傷つけているなどの行為があるとのこと。学校では、情報をいただいたらすぐ指導をしているところです。私有地(駐車場も含む)に入る、人のものを勝手にさわる、傷つけることは絶対にいけません。学校では繰り返し指導していますが、ご家庭でもご指導をぜひお願いいたします。

